

乳と蜜の溢れる里めざして

岐阜県高鷲町にある上野開拓は、郡上市の北に位置し、白山国立公園の南側の標高900mほどの雪深い地区だ。周りにはいくつものスキー場がある。

上野開拓は1945年から、開拓適地として入植が始まり、山林原野約450haが開墾された。

55年に機械開墾が始まるが、それまでは手開墾に頼るほかなく、頑強に張りめぐった笹や樹木の根を打ち切り、土をふるい、石を除く作業が来る日も来る日も体力の続く限り続いた。

開墾を続けるためには、何よりも生活の糧を得ることが先決だったので、疲労に加え生活苦は、当時の開拓者にあたえられた苦しく、つらい試練であった。

56年に、同じく開拓地の^{だいにち}大日地区、^{きつたて}切立地区の3地区が合併し、大日山麓開拓農業協同組合を設立した（この地域は、西部にある大日ヶ岳の火山活動でできた扇状地）。この地域には、観光地でもある「ひるがの高原」がある。

強酸性土壌を改良しながら、ダイコンを中心とした高冷地野菜に力を注いできた。

54年頃から開拓の指導者が北海道酪農を手本に、この地を「乳と蜜のあふれる里」にしようと目標を掲げ、酪農をスタートさせた。

57年から少しずつ牛乳が出荷できるようになったが、豪雪の時はソリで運んだこともあった。当時としては斬新なパイプラインを約7kmに渡って敷設するなど、大変な苦労と努力を重ねてきた。

それでも、着実に成果を上げ、88年には、高鷲村酪農生産組合として、農林水産大臣賞（中日農業賞）を受賞した。

84年に、「上野を拓く」と刻まれた記念碑が、白山神社前に建てられた。

記念碑には「入植者の不退転の努力により、厳しい自然条件をも克服し、高冷地を活かした営農体の確立で、人類の生活を拒み続けたこの地域が、今では理想と安らぎの新天地として生まれ変わるまでに至った」と記されている。

高鷲町には三白産業（雪・牛乳・ダイコン）があり、上野地区にも兼ね備えられている。

上野 21-219-3

①調査日 令和3年4月21日

②所在 郡上市高鷲町

③地区の沿革 民有の山林原野に47戸が入植した。

④設置年月日 昭和59年9月

⑤設置者 不明

⑥碑文（表面） 上野を拓く

高鷲村長 ●●●●

⑦碑文（裏面） 碑文 第二次世界大戦は 混迷せる世相と疲れきった人間を残し敗戦となり すべての物資は極度に少なくなる わけても食糧の不足は切実であった その中において国策として 食糧増産のために緊急開拓事業が始まった ここ上野地区も開拓適地として 山林原野約四五〇ヘクタールが買収され 公共用地を除き入植者に譲り渡された 国及び県の適確な行政指導と膨大な公共投資 入植者の不退転の努力とにより 溜池を始め縦横に通ずる道路網 電力の導入 電話架設 飲雑用水施設の整備等等行われた 厳しい自然条件をも克服し高冷地を活かした営農体の確立により 人類の生活を拒み続けたこの地域が 今では理想と安らぎの新天地として生まれ変わるまでに至った ここに買収に協力された旧地主の方々に心から敬意を表すと共に 元開拓農業協同組合の役職員並びに中途において他に生活を求め離農した同志の当時を偲び 風光明媚な白山神社の神域に碑を建て 開拓一世夫婦の氏名を刻みその労苦と名誉ある業績を称え 豊かな今日の幸せを感謝し 永遠の平和と地域の発展を希って碑文とする

入植者夫婦氏名略

昭和五十九年九月吉日建立

⑧現在の状況 白山神社前で管理されている。